

## 産業精神保健分野での活躍を目指す皆さまへ

うつ病、自殺対策、新入社員の離職など、現代社会において心理的ケアは重要課題となっています。しかし、職場におけるメンタルヘルス対策をどのように進めていけばよいのか、その実効性をどのようにすれば上げられるのか、試行錯誤が続いています。京都文教大学産業メンタルヘルス研究所では、こうした社会的要請に応えるべく、2009年に「産業心理臨床家養成プログラム」を開設しました。

プログラムの講師には、この分野における国内第一級の専門家に加わっていただき、産業場面で有効な心理臨床の技法、産業精神保健に関する知識を網羅的に学ぶことができます。また、臨床心理士、公認心理師、保健師、看護師、キャリアコンサルタント、人事労務スタッフ、産業カウンセラー等、さまざまな職種の方に受講いただき、他職種間の情報交換や学び合いが実現できるよう工夫しています。関心をお持ちの方々の積極的な参加をお待ちしております。

### 京都文教大学 産業メンタルヘルス研究所について

2008年に日本で初めて、産業メンタルヘルスに臨床心理学の知見を活かすための研究所として設立。

主な活動内容は、職場のメンタルヘルスに関する調査研究、職場で活用できるプログラムの開発・提供、職場を支援する臨床心理士・公認心理師をはじめ、産業カウンセラー、産業医等の専門家が職種の違いを超えて研鑽できる場の提供。多くの企業が課題と感じている働く人の心の問題に向き合い、さまざまな視点からその解決に向けた取り組みを行っている。

### プログラム概要

**期間** 2年（6月開講、翌々年の3月修了）

**受講料** 150,000円（税込）／1年間

- 講義、グループ・スーパーバージョン（グループ形式の授業）を年間20週40コマ開講。
- Web会議システムZoomを使用するオンライン開講。うち、年間2～3回は、対面とオンラインのハイブリッド講義を実施（予定）。  
※オンライン受講のみでプログラムを修了することも可能です。
- 対面講義はキャンパスプラザ京都（京都駅から徒歩5分）にて実施。
- プログラムの修了者には、修了認定証を交付。

**開講曜日** 土曜日（午後） 講義・演習（2コマ）

- 1コマ=1時間30分

### 【応募概要】

**定員** 10名程度

**募集対象** 産業精神保健分野での活躍を目指す方

**審査** プログラムへの参加に際して審査を行います。

- 一次審査 書類選考  
応募時に提出していただく書類、履歴書で産業メンタルヘルス領域での活動歴、メンタルヘルスに関する学習歴等を確認します。  
また、組織・団体からの推薦文も参考にします。
- 二次審査 面接  
産業領域での活動経験、産業心理臨床への関心などについて質問します。

**申込締切** 2025年5月8日（木）必着

**申込方法** 下記のホームページで詳細をご確認ください。  
[https://www.kbu.ac.jp/kbu/mental\\_lab/](https://www.kbu.ac.jp/kbu/mental_lab/)

お問い合わせ

京都文教大学 産業メンタルヘルス研究所

〒611-0041 京都府宇治市槇島町千足80番地

E-mail: [sangyou-kbu@po.kbu.ac.jp](mailto:sangyou-kbu@po.kbu.ac.jp)

Tel: 0774-25-2634  
(京都文教フィールドリサーチオフィス内)

産業メンタルヘルス分野で

活躍を目指す方へ

## 産業心理臨床家 養成プログラム

【オンライン開講】

2025

京都文教大学  
産業メンタルヘルス研究所

Kyoto Bunkyo University

# [ 講義・演習の概要 ]

1年次

2年次

## 『ワーク・エンゲイジメント』

島津 明人：慶應義塾大学 総合政策学部 教授  
働く人のこころの健康のポジティブな側面に注目した「ワーク・エンゲイジメント」を取り上げ、その考え方、主な研究、組織と個人に注目したワーク・エンゲイジメントの高め方について解説する。

## 『中小企業研究基礎論』

藤村 正弘：藤村マネージメントサポート 代表  
大企業と異なる特徴を持つ中小企業の現状と、激変する環境の下で中小企業が抱える今日的課題を解説する。

## 『企業経営基礎論』

柏木 裕之：lei consulting代表、元ワコール健康保険組合常務理事  
企業経営についての基本的な知識を得る。

## 『産業・組織心理学』

金井 篤子：愛知みずほ大学 人間科学部 教授  
産業・組織領域における活動に不可欠な産業・組織心理学の基礎的な知識を学ぶ。

## 『産業精神医学』

音羽 健司：帝京大学 医学部 教授  
産業心理臨床に必要な精神医学の知識について概説する。事例を挙げ、ポイントをわかりやすく説明し、現場で活用できるようにする。

## 『産業心理職（保健スタッフ）の役割』

森崎 美奈子：（一社）日本産業心理職協会 代表理事  
産業心理職（保健スタッフ）に必要な法規やスキルを紹介する。又、事例を通じて、職場のメンタルヘルス活動での心理職（保健スタッフ）の役割を学ぶ。

## 『EAP展開技術論』

市川 佳居：（一社）国際EAP協会日本支部 理事長  
EAP（Employee Assistance Program）を実際に展開するために、どのように事業を展開していけばよいのか、起業モデルを提起する。

## 『管理監督者への研修・コンサルテーション』

種市 康太郎：桜美林大学 リベラルアーツ学群 教授  
この講座では、管理職研修とコンサルテーションを例に、管理監督者への関わり方について座学と演習で学ぶ。

## 『職場で活かせる芸術療法』（九分割統合絵画法）

森谷 寛之：京都コラーージュ療法研究所長  
職場で役立つ心理技法として、筆者が開発した「九分割統合絵画法」を紹介する。自己紹介、ストレス、パワハラ、過去のまとめ、将来のビジョン設計、家族関係など工夫次第で多彩に応用できる。

## 『キャリアデザイン論』

宮城 まり子：キャリア心理学研究所 代表  
メンタルとキャリアは非常に関係性が深く、キャリアデザインはキャリア戦略でもある。環境変化が激しい現在、どのようにキャリアは形成されるのかについて考える。

## 『力動的組織病理論』

川畑 直人：京都文教大学 臨床心理学部 教授  
機能不全を引き起こす組織の病理をどのように理解することができるのか、基本的枠組みを提供する。

## 『障害を持つ労働者と職場への支援』

三宅 美樹：トヨタグループ株式会社 心理職  
障害（身体・内部・知的・精神・発達）をもつ労働者の就労支援と、雇用している組織への定着支援について、心理職の役割を学ぶ。

## 『コーチング論』

川畑 直人：京都文教大学 臨床心理学部 教授  
コーチングを心理療法との連続体で考える Executive Coaching の考え方をともに、演習を交えながら実践の在り方を学んでいただく。

## 『認知行動療法』

正木 大貴：京都女子大学 現代社会学部 教授  
認知行動療法の基本理念を概説したうえで、実際にセルフモニタリングやロールプレイの経験を通して、アセスメントの技法について学ぶ。

## 『企業におけるハラスメントの現状と対策』

稲尾 和泉：（株）クオレ・シー・キューブ 取締役  
企業におけるハラスメントの実態と動向を学び、発生時の対応や予防教育についてさまざまな事例を参考にしながら防止対策を考える。

## 『産業領域における高次脳機能障害学Ⅰ』

中島 恵子：京都文教大学大学院 臨床心理学研究科 教授  
ある日突然の病気などによる高次脳機能障害の職場復帰支援として、脳血管障害、脳炎、脳症を理解し、職場復帰支援への具体的な方法について学ぶ。

## 『経営学基礎論』

中森 孝文：龍谷大学 政策学部 教授  
組織運営に役立つ経営学の基本的知識を修得する。特に価値観の違いの克服や社員のやる気の向上、職場の心理的安全性と経済不合理的との関係について理解を深める。

## 『企業研究基礎論』

柏木 裕之：lei consulting 代表、元ワコール健康保険組合常務理事  
企業を理解するために、成り立ち、組織風土、経営などについて概説する。企業における今日的経営課題について解説する。

## 『人事管理・人材開発』

ROOM株式会社 人事部  
企業における人事管理や人材開発の基本的な知識を得る。

## 『産業心身医学』

山本 和美：（医）弘正会西京都病院心療内科 臨床心理士  
職場におけるストレス関連疾患の心身医学的理解およびマインドフルネスなど心身両面からのアプローチを学ぶ。

## 『臨床アセスメント面接論』

川畑 直人：京都文教大学 臨床心理学部 教授  
面接技術のなかでも、特にアセスメントに焦点を当て、心理療法、コンサルテーションにも役立つ面接技術の向上を目指す。

## 『エグゼクティブ・カウンセリング論』

市川 佳居：（一社）国際EAP協会日本支部 理事長  
経営トップに対するカウンセリングに必要な知識技術を解説する。

## 『組織心理コンサルテーションの技術』

松本 寿弥：名古屋大学 学生支援本部 教育連携室長  
組織で生じる様々な問題に対して、心理的な観点からコンサルテーションを行っていくための基本的な技術について、演習を含めながら解説する。

## 『サーヴェイ・リサーチ技法論』

大庭 さよ：メンタルサポート&コンサル東京合同会社 代表社員  
企業におけるメンタルヘルスの実情を調査するための技術や結果の報告技術について検討する。

## 『ストレスチェック論』

大庭 さよ：メンタルサポート&コンサル東京合同会社 代表社員  
労働安全衛生法の改正により、50人以上の事業場においてはストレスチェックの実施が義務付けられている。産業心理臨床家はストレスチェックのように関わっていけばよいのか、必要なスキルと実際について学ぶ。

## 『産業領域における高次脳機能障害学Ⅱ』

中島 恵子：京都文教大学大学院 臨床心理学研究科 教授  
ある日突然の事故などによる高次脳機能障害の職場復帰支援として、外傷性脳損傷を理解し、職場復帰支援への具体的な方法について学ぶ。

## 『職場のメンタルヘルス対策』

内田 陽之：（一社）京都工場保健会専任カウンセラー  
産業分野に関わる心理臨床家に求められる役割や事業場におけるメンタルヘルス対策の変遷を整理し、メンタルヘルス対策の進め方のポイントや自殺予防対策について事例を通して検討する。

## 『メンタルヘルスのための職場環境改善』

内田 陽之：（一社）京都工場保健会専任カウンセラー  
健康でいきいきとした職場づくりを目指す取り組み事例を紹介するとともに、参加型職場環境改善の演習を通して、集団への関わり方について検討する。

## 『裁判事例にみるメンタルヘルスの法律問題』

小野 裕樹：平和台法律事務所弁護士  
職場におけるメンタルヘルス不調者に対する処遇はどのようにあるべきか、使用者の責任はどのような場合に認められるのか等の法律問題について、裁判事例をもとに解説する。

## 『労働安全衛生学』

森口 次郎：（一社）京都工場保健会産業医学研究所 所長  
事業場における産業保健の法的背景や活動の概要を紹介するとともに、メンタルヘルス不調者の支援や一次予防の取り組みなどについて、産業医業務の実際や産業スタッフの連携等を事例を通して説明する。

## 『復職支援プログラム論』

片桐 陽子：（株）メンタルアシスト、（一社）カウンセリングセンターきょうと  
復職者をどのように受け入れ、復帰を支援するのか、様々なプログラムの例を挙げながら解説する。

## 『身心相関とストレスマネジメント』

濱野 清志：京都文教大学大学院 臨床心理学研究科 教授  
東洋の伝統的身体技法を用いて心の健康管理、ストレスマネジメントに不可欠な身心相関について体験的に学ぶ。

『事例演習』 事例演習を通して適切な支援や人事労務対策のあり方を習得する。

『特別実践指導』 産業領域での研修場面を想定した演習を行い、相互に検討し合うことによって実践力を高める。